



特別
子 12
3643
9





首^メの^カ彫^キつが^ホ遠^キハ^ス數^セ子^コ女^メ 早^キセル
 も^カ独^カけ^ルを^ホほ^フの^コへ^ハよ
 り^ク渡^ルり^ヨの^ホ石^ノの^キ橋^ノ 早^キ昔^ノあ^メら^ウ
 子^コ息^ノも^ダた^マの^ノ 子^コれ^ノは^ト目^メも
 ら^クい^ハ心^ノも^トや^ウ 子^コら^ノハ^トある
 石^ノの^キ橋^ノ 子^コま^ツは^ト 早^キ昔^ノの^キ橋^ノも^ト
 子^コ息^ノの^ノ女^メハ^ト此^ノ橋^ノ乃^ハ木^ノも^トア^ハ

梅^{ウメ}若^カ重^シカ^シ氏^ノ
 寄^シ贈^ル

たもひもよらぬ深き水に
あやうしや目もくれ心もほろ
とありよきりおほろきもの
橋のいづれ清かきあり
天地开辟乃時より海内
たもひもよらぬ深き水に
あやうしや目もくれ心もほろ
とありよきりおほろきもの
橋のいづれ清かきあり
天地开辟乃時より海内

よはみきりしと當帝船も
しめいふよとあし強あ其後
鷹舞鳥よ命し橋海を始くれ
あは石深き水に
よのくれ萬民あせとれも
橋の徳とあや志るよ此石橋と
ハ人間の渡き橋よあはるのき

と山見志て谷と渡れる石あり
石橋とてうみづをたまたま
わたりよみ人よあもせまきし
をあはぶあめりあり其長さ
三丈よが台のうこをく深きこと
あはよおしんかちる新
いと雲よめ如をて志し

もきあみた音ハ花よひき合
てはは震動しあめつちられ
うごちあ橋りきしと見渡
をハ雲よるいゆる松りたき
夕陽のあめの枝は虫とあせり
ふみひらねゆもかちああり
ちるあよのうんで谷とられ

わあきつきもさへもて渡ふ人
とあし神変舞かよあはれ
これ此橋とれあはれむい文
殊乃海およて常よ異香の花
あましるも魚珠の豊か候又日乃
雲よあして目前乃奇物あ
あり珠のまへを給へや景向の時節
合

上
花

も今くほどりもあはれ
獅子固れ旋の舞樂のみぎつく
體林系離均の獅子頭うてやを
さや牡丹芳牡丹芳牡丹乃をあざ
白ひ満く黄金の獅子花て花よ
たふも枝よかまろび実た
ふひあし獅子乃いまほいあび

くぬきおまもあう時あれや萬歳
と秋と舞とらめ萬歳と秋と舞
とらめて獅子乃鹿はとうあ
きれ

